

令和4年度 茨城支部事業報告

まえがき

原子力国民会議茨城支部は、令和元年6月2日に発足し、「設立記念講演会」、「原子力フォーラム茨城」(3回)、「サイエンスカフェ茨城」(8回)、原子力施設見学会などの原子力の理解促進のための活動を行ってきた。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大によるまん延防止等重点措置の中、恒例になった原子力フォーラムを開催するなど、支部の運営基盤の強化につなげるための事業を行なった。

1 第4回「原子力フォーラム茨城」の開催

ロシアのウクライナ侵攻から3か月を迎え、ロシアと西側諸国の対立が深まり、エネルギー関連をはじめ、諸物価の高騰という国内外の情勢下の令和4年6月18日、第4回「原子力フォーラム茨城」—激動する国際情勢とエネルギー安全保障について考える—を大洗町商工会の後援のもとにトヨペットスマイルホール大洗大ホールにおいて開催し、約300名の参加があった。

- ・日 時：令和4年6月18日 13:10～15:10
- ・場 所：トヨペット スマイルホール 大洗（大洗文化センター大ホール）
- ・プログラム

○特別講演 国際情勢とエネルギー安全保障

講師 キャノングローバル戦略研究所研究主幹・元外交官 宮家邦彦氏

○講演 ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギーの混乱と日本の電力危機

講師 衆議院議員・自由民主党経済産業部会部会長 石川昭政氏

2 地域活動へ反映するためのアンケート調査

- ・「エネルギー政策」及び「エネルギー利用」の関心度について調査し、各エネルギー政策の賛同者の性別・年代とエネルギー利用の関心度との相関を分析した。回答者は155名（うち女性16%）。
- ・エネルギー政策について「原発再稼働の促進」は平均88%、女性70%。「原発新增設」は平均51%、男性58%と多かったが、女性と10～20代が各13%、25%と少なかった。
- ・エネルギー利用の関心度については、原発の「安全対策」と「再稼働基数」は7割以上が知っていた。「再エネとは？」は9割の関心があったにもかかわらず、「再エネ賦課金」や「太陽光発電普及度」への関心は少なかった。
- ・今後の支部活動の仕方に本結果を活かす。

第4号議案

3 市町村議会議員による「議員ネットワーク」との活動

「議員ネットワーク」の議員を中心に、フォーラムに参画していただいた。
コロナ禍により、今年度も勉強会の開催は見送られた。

4 地域活動による基盤整備

(1) 高等学校との連携

原子力フォーラムへ参加した高校生が季刊誌へ感想文を寄稿し、原子力機構の施設を見学した。一生徒が地元の原子力関連企業に採用された。

(2) 原子力国民会議本部との連携

- ・季刊誌「原子力の新潮流」の配布
- ・第4回「原子力フォーラム茨城」開催報告の投稿 (vol. 3.3 2022年11月)

(3) 支部会員加入への取り組み

「原子力フォーラム茨城」参加者(若干名)が新規会員になった。

(4) 支部活動の紹介と情報提供のためのホームページ(HP)の活用

「お知らせ」、「活動報告」を掲載した。

以上